

# 「なごみの郷 高野」



高野地区（本村・古閑・榎原・前野の4集落で構成）は、町の南東部に位置し、みどり豊かな山林や水源など自然環境に恵まれた地域で、人口288人、世帯数91世帯の地区です。年々集落人口は減少しており、高齢化率が40%を超えている状況となっています。

平成20年度には国土交通省「維持・存続が危ぶまれる集落を対象とした地域づくりに関する実地調査」を実施し、榎原地区と前野地区においては集落点検による地域資源の再確認や将来構想について検討、本村地区と古閑地区においては世帯主アンケート調査を実施し、地域の課題を踏まえた新たな地域づくりの取り組みを検討しました。

それらの取り組みをきっかけに、4集落のうち榎原集落においては、自発的に「榎原区の存続を考える会」が立ち上がり、集落出身の外側の人を含めた取り組みが始まっています。

本年度は、昨年度の取り組みを受けて、その集落を中心に、4集落が一体となって、高野地区住民が「自分たちの地域は自分たちの手で」という意識を持ち、安心・安定した集落の実現に向けた取り組みを考え、企画し、地域資源を活用した活性化事業を実施することで、今後の集落における暮らしの維持に向けた取り組みのきっかけとしていくことを目指しています。

（本事業は国土交通省「過疎集落における安心・安定の暮らし維持構想策定事業」を活用して実施しています。）



## 1. 手作り案内板づくり

「地元でも道に迷う!?」「なら、地区外の人はどうやって高野に来るの!?」

このままではいけないと“できることから始めよう!”を合言葉に、手作り案内板を作りました。

地区内には、15の案内板が設置されています。

ぜひ、まち歩きをしながら、個性あふれる手作り案内板を探してみませんか?



## 平成21年度

# 2大

## 取り組み



“4地区全体でまずはやってみよう!”と地域づくり発足式を開催しました。せっかくだから、地元の新鮮な食材を使ってし鍋を囲む企画へ。

地区の愛称は「なごみの郷 高野」と決定し、地域づくりを始める第一歩を踏み出しました。

「まずは自分たちが楽しもう!」「きっと人が寄ってくるはず!」

## 2. 地域づくり発足式



# これまで

# の取り組み

～平成20年度から平成21年度にかけて、地区全体で様々な地域づくりに取り組んできました～

## 集落点検ワークショップ（榎原・前野）

H20.9

◆地域資源の再確認・将来構想の検討



## 集落点検ワークショップ（本村・古閑）

H21.9

◆地域資源の再確認・将来構想の検討



## 集落合同ワークショップ（本村・古閑・榎原・前野）

H21.10～

### 第1回「高野地区で何ができるか考えよう！」

- ・空き家の問題を解決したい。
- ・インターネットを活用したPR。
- ・社会実験の案として、そばづくり、芋煮会、直売所・特産品販売等の提案。



### 第2回「社会実験のテーマや企画を考えよう！」

- ・本村：案内板の設置、竹灯籠のイベント
- ・榎原：遊休地の活用
- ・古閑・前野：案内板の設置、水の活用

### 第5回「視察研修のふりかえり」

- ・リーダーやひとが大切。地域資源を活用しよう。空き家を活用しよう。愛称をつくろう。拠点づくりをしよう。愛着を持とう。地産地消をしよう。イベントを実施しよう。
- ・第一歩として**地区の愛称づくりのしし鍋イベントを開催**することを決定。
- ・**愛称には“郷”を入れる**ことも決定。

### 第3回「社会実験の具体的企画作り！」

- ・地元をPRするために「**手作り案内板づくり**」を行うことを決定。

### 第6回「しし鍋イベントの企画・準備、地区の愛称（案）について」

### 第7回「しし鍋イベントの準備について！」

- ・しし鍋イベントの最終確認。
- ・地区の愛称（案）4案を決定。

### 第4回「看板の種類と場所を決めよう！」



### 第8回「イベントの反省、なごみの郷 高野のこれからを話し合おう！」

## H21 「榎原区の存続を考える会」発足

## H21.11 夢ランド十町広場と平野地区なごみの里（ふれあいの森）を視察

◆手作り案内板を見学して高野地区での取り組みイメージが湧いた！



## 地域づくり講演会

◆全国の事例から、地域活性化に向けて、成功の秘訣を学ぶ！



H21.12

H21.12

## 手作り案内板の作成・設置



## 安心院イモリ谷と豊後高田昭和の町を視察

◆「出来ることから始める大切さ」と「おもてなしの心」を学ぶ！



H22.1

H22.2

## 地域づくり発足式・高野地区しし鍋祭 開催

- ◆地区みんなで地域づくり発足式を開催。
- ◆地区の愛称を「**なごみの郷 高野**」と決定！

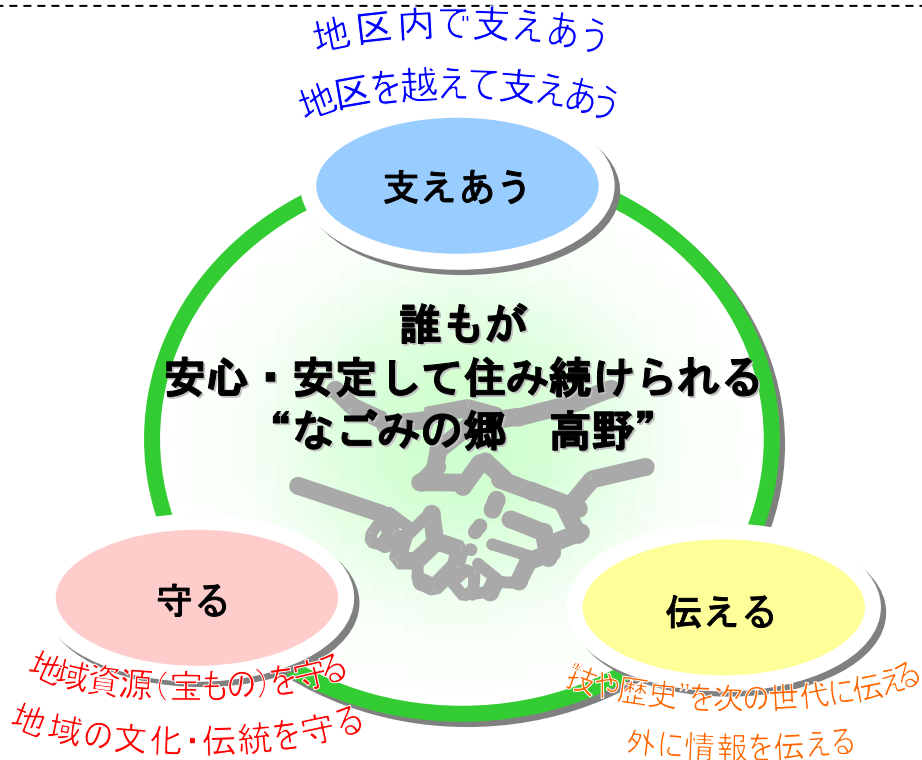


# 今後

# の取り組み ~これからもみんなで取り組みます~

## 将来像

高野地区の新たな地域づくりにおいて基本となるキーワードを①地区内または地区を越えて住民みんなで「**支えあう**」、②地域資源（宝もの）や地域の文化・伝統を「**守る**」、③技や歴史を次の世代や地区の外に向けて情報を「**伝える**」と定め、子どもから高齢者までが将来にわたって安心・安定して住み続けられる地域になることを目指します。



### 支えあう

#### 【地区内の取り組み】

- ・ 定期的な寄り合いの継続
- ・ 各公民館への意見箱の設置
- ・ 草刈りや地域行事の実施
- ・ 日常生活の困りごと支援活動
- ・ 高齢者への食事の提供・配達

#### 【地区外と連携した取り組み】

- ・ 農業等体験イベントの開催
- ・ 町内に立地する企業と連携した空き家の活用
- ・ 集落支援員の活用

### 守る

#### 【地区内の取り組み】

- ・ 手作り案内板の維持・管理
- ・ いがわさん(湧水)の手入れ・管理
- ・ 神社や道路の管理・草刈り
- ・ 休耕地を活用した農産物の生産・販売(豆腐づくり・味噌づくり・そばづくりプロジェクト)

#### 【地区外と連携した取り組み】

- ・ 貸し農園・オーナー制度の実施
- ・ まちあるきツアーの企画・開催
- ・ 食のイベントの企画・開催
- ・ 流しそうめんイベントの企画・開催
- ・ 体験型イベントの企画・開催

### 伝える

#### 【地区内の取り組み】

- ・ 高野地区の“技や歴史”伝承講座
- ・ 祭りの継続実施
- ・ 郷土料理弁当の提供(地区内の高齢者への提供・配達も含む)
- ・ 地産地消の料理教室

#### 【地区外と連携した取り組み】

- ・ 高野地区の“技”伝承講座
- ・ 町広報紙での取り組み紹介
- ・ インターネットを活用した情報発信
- ・ メディアへの情報発信